

クリーンセンターだより

第15号

【発行・編集】 発行日：平成24年1月1日
発行元：津山圏域資源循環施設組合
〒709-4603 岡山県津山市中北下1300番地
(津山市役所久米支所3階)
電話：(0868) 32-7017(直通)
FAX：(0868) 32-7019
Eメール：shigen-t@mx1.tvt.ne.jp

《事務センター》
〒708-8501 岡山県津山市山北520番地
(津山市役所6階クリーンセンター建設事務所内)
電話：(0868) 32-2169(直通)
FAX：(0868) 32-2167

力強く新たな段階へ

津山圏域資源循環施設組合管理者

宮地 昭 範



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと存じます。

新クリーンセンター建設事業につきましては、建設予定地をはじめ圏域の住民の皆様にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成22年3月、私が管理者に就任して以来、それまで行われてきた建設事業の問題点を津山市長として検証し、改めるべき点は改めながら、津山市領家地区での事業推進を図ることとしました。

昨年からは、皆様に再度ご意見をいただいて計画の見直しを行い、平成27年12月に新施設が完成、稼動できるよう、関係機関のご協力を得ながら全力で取り組んでいるところです。

今後も、決定した事業方針に基づき、一日も早い完成に向けて取り組んでまいりたいと考えていますので、皆様からの一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



施設計画が決定しました

新クリーンセンター建設事業について、検討を重ねた結果、施設計画を次のように決定しました。

新施設の配置について

クリーンセンターの施設配置については、自然環境と住環境に最大限配慮した計画にしています。



里山の景観を残す

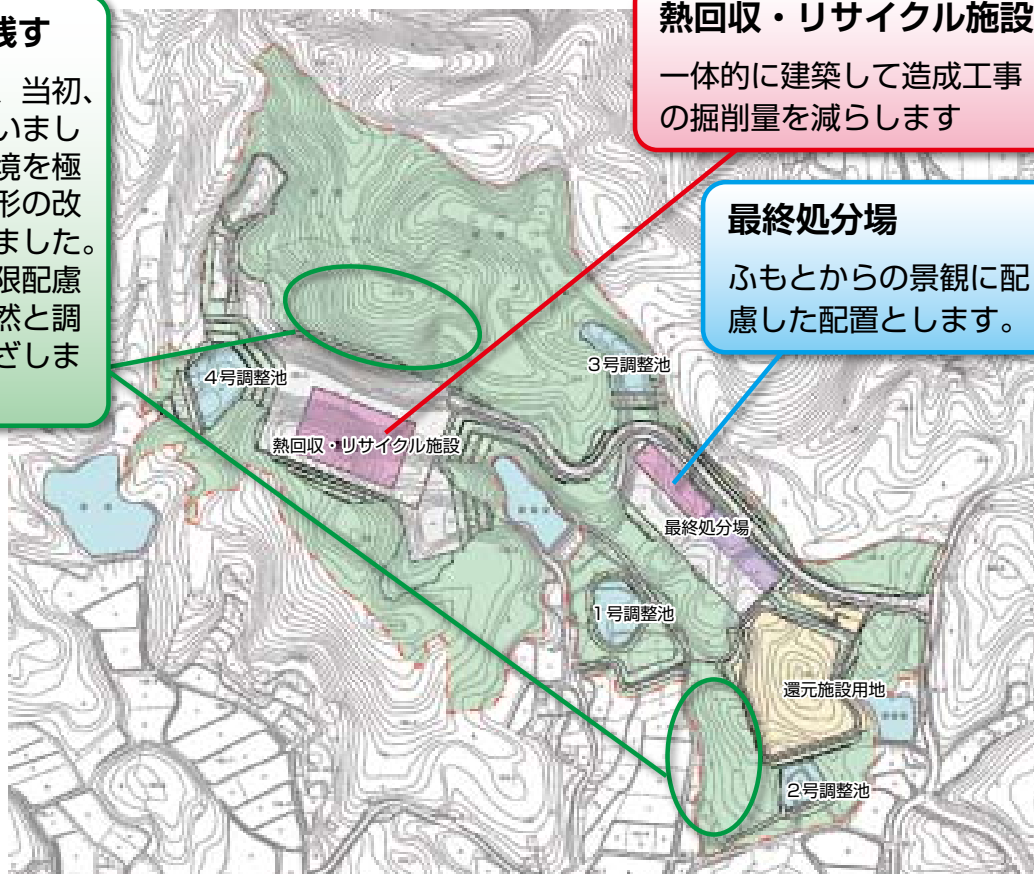
図の○印部分は、当初、切盛を予定していましたが、里山の環境を極力残すため、地形の改変を最小限にしました。自然環境に最大限配慮することで、自然と調和した施設をめざします。

熱回収・リサイクル施設

一体的に建築して造成工事の掘削量を減らします

最終処分場

ふもとからの景観に配慮した配置とします。



新施設の規模について

熱回収施設（焼却炉）の施設規模については、最新の資料で将来予測を見直すとともに、ごみ減量・リサイクルの推進をより一層図ることにより、施設規模を128 t / 日と改め、施設建設費の縮減を図ります。

ごみ減量とリサイクルを着実に推進するために、圏域の皆様のご協力をお願いいたします。

従来の計画
150 t / 日



新しい計画
128 t / 日



組合議会 平成23年8月臨時会

昨年8月27日に組合議会臨時会が開催され、正副議長の選出、補正予算（第1次）、条例案などの審議が行われました。主な審議内容は次のとおりです。

○正副議長の選出

議長には、津山市議会選出の松本義隆氏が選出され、副議長には、鏡野町議会選出の浦矢薫氏が選出されました。



松本 義隆 議長



浦矢 薫 副議長



岡本 良市 監査委員

○監査委員の選任について

監査委員は、勝央町議会選出の岡本良市氏の選任が同意されました。

○津山圏域クリーンセンター施設建設・運営事業者選定委員会設置条例

施設の設計・建設・運営を行う事業者を選定するため、学識経験者と行政関係者で構成した委員会を設置するための条例です。

○平成23年度資源循環施設組合会計補正予算（第1次）

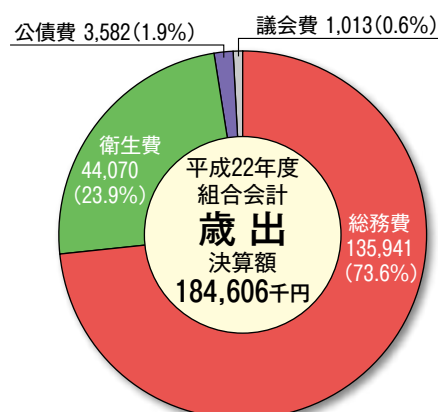
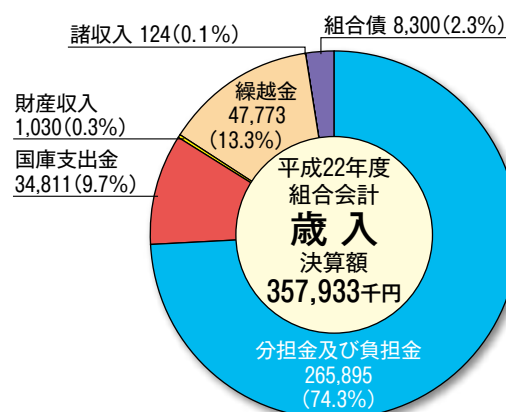
事業実施に伴い、必要が生じた土壌調査及び津山圏域循環型社会形成推進地域計画変更案の作成のため、委託料として3,145万円の増額補正を議決しました。



組合議会 平成23年11月定例会

昨年11月18日に組合議会定例会が開催され、平成22年度決算、補正予算（第2次）の審議が行われました。

平成22年度組合会計決算について



平成22年度事業の主なものは、環境影響評価、埋蔵文化財調査、敷地造成設計、最終処分場設計などです。

平成23年度組合会計補正予算(第2次)について

第2次補正予算として、施設建設と運営事業者を選定する手続きに必要な債務負担行為を議決しました。



津山圏域クリーンセンター施設建設・運営事業者選定委員会

津山圏域クリーンセンターの熱回収施設（焼却炉）とリサイクルセンターの建設・運営はDBO方式で実施することとしています。この事業の実施を行う民間事業者の選定を行うため、「津山圏域クリーンセンター施設建設・運営事業者選定委員会」が設置されました。

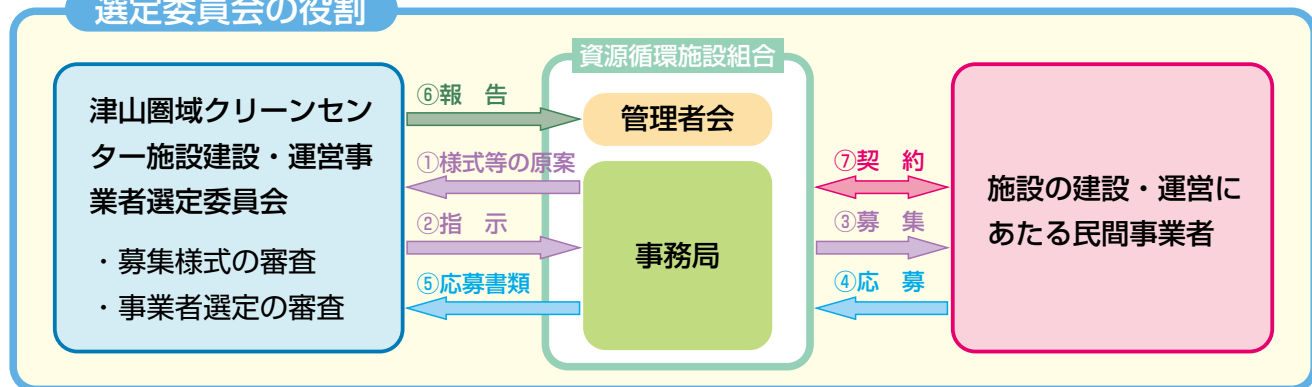
事業者選定委員会は、学識者、行政代表の計11名で構成され、約1年かけて事業者の選定作業を行います。

第1回の事業者選定委員会は、昨年10月27日に開催され、委嘱状交付ののち、委員長に学識者の宮本和明氏（東京都市大学教授）、副委員長に栗原英隆氏（全国都市清掃会議技術顧問）が指名されました。



▲委嘱状交付の様子（左が宮本委員長、右が宮地管理者）

選定委員会の役割



津山圏域クリーンセンター整備・運営検討委員会

津山圏域クリーンセンター整備・運営検討委員会は、住民代表、学識者、公募による住民代表、行政代表の計16名の委員で構成され、各施設の計画段階から、施工中、そして稼働開始後の運営段階まで、円滑に事業を推進するため、総合的な検討をおこなう委員会です。



▲第1回津山圏域クリーンセンター整備・運営検討委員会の様子

昨年8月12日に第1回の委員会が開催され、委員長に大下順正氏（津山市副市長）が選任されました。

また、11月15日の第2回委員会では、「新クリーンセンターのリサイクルプラザに関する提言について」を取りまとめました。



津山圏域資源循環施設組合のホームページもご覧ください。

<http://www.shigen-tsuyama.jp/>

ご意見・ご感想もどんどんお寄せ下さい！

